

ヒメジ理化(株)兵庫県姫路市別所町北宿地区に新工場建設を計画 半導体製造装置向け石英製品の増産を目的とした生産体制の強化



〔新工場のイメージ図〕

ヒメジ理化株式会社について

ヒメジ理化株式会社は 1965 年の創業以来、照明用石英バルブの製造を主力とし、大手照明メーカーの下請けとして成長し続けてきました。

しかし 2011 年の震災以降の LED 化促進により、事業の軸を半導体製造向け石英ガラス製品へと転換しました。2015 年には半導体製造装置において国内首位の東京エレクトロンの認定を取得。以降、同社向け製品の供給を拡大し、2018 年には「ベストサプライヤー賞」を受賞するなど、事業構造の刷新と成長を実現しました。

そして 2023 年度には近年の工場新設や M&A などの積極的な投資による事業転換が評価され、「中小企業庁グッドカンパニー大賞」のグランプリを受賞しました。

現在、当社で石英加工を行う拠点は子会社も含めて、姫路市に 1 拠点、福島県会津若松市に 2 拠点、その他福島県に 5 拠点の計 8 拠点となり、石英ガラス製品の製造を通して、日本の半導体産業を支えています。

近年の情報革命に伴いデータセンターの増設が進み、メモリー半導体やロジック半導体、AI 半導体などの需要が拡大しています。さらに、車載用カメラやスマートフォンなどに使われるイメージセンサー、LED、レーザーダイオード、省エネに貢献するパワー半導体など、多様な半導体があらゆる場面で活用されており、国家戦略物資としての重要性が一層高まっています。

新工場について

所在地(予定)	兵庫県姫路市別所町北宿字西ノ元 13 番 4
建築面積	10. 589. 39 m ²
稼働開始(予定)	令和 10 年 1 月より

当社は今回半導体製造装置向け石英製品の増産を目的に姫路市別所町北宿地区に約 1 万 m²の新工場建設を計画しています。生産品目は半導体製造プロセスで使用する石英製品で、主にチューブ、ボート、ガス導入管などを予定しています。販売先は、東京エレクトロンや KOKUSAI ELECTRIC などの成膜装置メーカーに加え、ソニーセミコンダクター、キオクシア、ローム、マイクロン、インテル、TI などのデバイスメーカーが中心です。

今後は、熊本県に進出した TSMC 子会社 JASM や、北海道を拠点とするラピダスなど、注目企業への供給も目指していきます。当社で製造される製品は、酸水素炎を用いすべて一つ一つ人の手で製造されています。そのため本社工場がある姫路であれば技術の伝承がしやすく、新工場設立にあたっては地元からの雇用を通して、地域に貢献していきたいと考えております。



[工場正面玄関に続く道路のイメージ]

〈本件に対するお問い合わせ先〉
ヒメジ理化株式会社 顧問 尾崎
TEL : 090-3896-9300